

高齢者活用におけるシルバー派遣事業の特性に関する調査

令和4年3月

公益社団法人島根県シルバー人材センター連合会

I. 調査の概要

1. 趣旨・目的

シルバー人材センター事業は高年齢者等の雇用の安定等の法律の定めに基づく事業で、全国では約70万人、島根県では7市6町で約4200人の会員が就労を通じて社会参加をしています。

国においては、労働力人口の減少等により人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足が課題となる中、「高齢者活躍人材確保育成事業」により事業所に対するシルバー人材センターに関する周知・広報等を行うことで、地域の人手不足や現役世代を支える分野での高齢者の活用・活躍を促進することとしています。これを踏まえ、ハローワークにおける再就職支援とは異なる層のシニア人材確保の一策として、本格的な職業生活からの引退過程にある高齢者の働き方や就労環境を工夫することで、これら的高齢者を担い手として活用するシルバー人材センター事業の機能強化・基盤拡大が図られているところです。

そのような中、島根県内におけるシルバー派遣事業を一層拡充し、もって人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足の解消に寄与するにあたり、高齢者活躍人材確保育成事業における周知・広報、及びシルバー派遣事業の特性に対する意見・意向について、島根県シルバー人材センター連合会がアンケート調査を実施し、これをまとめたものです。

2. 調査の方法

(1) 調査の方法

郵送によるアンケート形式

(2) 調査の種類と対象

島根県内の従業員30人以上の雇用保険適用事業所 全1,214社

(3) 調査の実施時期

令和3年11月

3. 回収状況

調査の回収状況は、以下のとおり

対象数	回収数	回収率
1,214社	424社	34.9%

(回収率は、対前年度比△1.9ポイント)

II. 調査結果（各問の回答数の合計・小計値は、未回答の事業所があるなど一致しない場合があります。）

このたびの調査は、島根県内におけるシルバー派遣事業を一層拡充し、もって人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足の解消に寄与するにあたり、高齢者活躍人材確保育成事業における周知・広報、及びシルバー派遣事業の特性に対する意見・意向を調査したものです。

これを踏まえ、特に次の2点を重点事項として注目しました。

（1）高齢者活躍人材確保育成事業の成果と課題

（2）事業所のニーズを踏まえた効果的な施策

1. 重点事項の調査結果

（1）高齢者活躍人材確保育成事業の成果と課題

① アンケート回収率

島根県内の30人以上の雇用保険適用事業所を対象に、令和元年度より、3カ年度続けて調査を実施したところ、アンケートの回収率は毎年減少しています。働き方改革や高齢者就業確保措置など、その時々々の社会情勢も踏まえた調査項目を盛り込んではいませんが、調査の目的から毎回同じ質問を繰り返しており、「この程度のアンケートを郵送するコストを考えて事業運営すべき」とのご意見も寄せられています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
回収率	42.9%	36.8%	34.9%

② シルバー人材センターの認知度

シルバー派遣事業に対する認知度は、「知っている」が86.6%で、対前年度調査の1.0ポイント増でした。最初の調査（令和元年度）から8.7ポイント増加しており、周知・広報及び就業開拓等により一定程度の成果が見られています。

一方で、シルバー派遣事業を積極的に周知・広報し、一定の実績をあげている出雲市や松江市でも認知度が9割に達していないことから、全体的に、引き続き周知・広報に取り組む必要があることが見て取れます。

	知っている	知らない	認知度		知っている	知らない	認知度
川本町	4	0	100.0%	松江市	102	17	85.7%
飯南町	3	0	100.0%	邑南町	6	1	85.7%
美郷町	2	0	100.0%	江津市	17	3	85.0%
西ノ島町	1	0	100.0%	奥出雲町	6	2	75.0%
浜田市	41	2	95.3%	大田市	13	6	68.4%
安来市	17	1	94.4%	津和野町	1	1	50.0%
益田市	24	2	92.3%	吉賀町	0	3	0.0%
雲南市	27	3	90.0%	海士町	0	2	0.0%
出雲市	96	11	89.7%	知夫村	-	-	-
隠岐の島町	7	1	87.5%				

※緑の網掛けは未実施地域。黄色の網掛けはセンター未設置地域（調査時）

③ シルバー派遣事業の利用状況

これまでに、シルバー派遣事業を利用したことのある事業所は43.4%と半数に満たない状況にあります。ちなみに、現在利用（継続又は断続的）している事業所は25.2%とさらに少なくなっています。

県内でも、事業所の利用が最も進んでいる出雲市でも、概ね平均値と同じ状況にあることから、まだまだ就業開拓の余地が十分にあると見込まれる一方で、認知度に対して利用が進んでいない理由・原因を分析・把握する必要があります。

また、シルバー派遣事業を実施していない地域等でも「利用している」と回答している事業所があることから「必ずしもシルバー派遣事業を正しく理解いただけていない」ことが想像されます。さらに、万が一請負契約であっても指揮命令等が発生しているなどの不適正な就業環境である可能性もあることが危惧されます。

	現在、 継続して利用	現在、 断続的に利用	以前、利用	利用なし	利用率	
					現在の利用率	現在の利用率
雲南市	14	1	4	9	67.9%	53.6%
安来市	7	0	4	7	61.1%	38.9%
益田市	5	1	8	12	53.8%	23.1%
津和野町	1	0	0	1	50.0%	50.0%
浜田市	11	2	7	23	46.5%	30.2%
出雲市	24	2	21	59	44.3%	24.5%
松江市	15	10	21	72	39.0%	21.2%
奥出雲町	1	2	0	5	37.5%	37.5%
邑南町	0	0	2	5	28.6%	0.0%
江津市	1	1	3	15	25.0%	10.0%
隠岐の島町	0	0	1	7	12.5%	0.0%
吉賀町	0	0	0	3	0.0%	0.0%
美郷町	0	0	0	2	0.0%	0.0%
合計	79	19	71	220	43.4%	25.2%

一方で、業種別（回答数が10事業所以上の業種）でみても、利用率が突出した業種はありません。その中で、現在の利用率では、「医療・福祉」が33.9%と平均を10.8ポイント上回り、減少幅も14.4ポイントにとどまっています。コロナ禍にあっても利用が継続している状況を裏付けていると見て取れます。

	現在、 継続して利用	現在、 断続的に利用	以前、利用	利用なし	利用率	
					現在の利用率	現在の利用率
医療・福祉	33	7	17	61	48.3%	33.9%
製造業	15	3	15	49	40.2%	22.0%
卸売業、小売業	6	3	8	26	39.5%	20.9%
農業、林業	0	1	3	7	36.4%	9.1%
建設業	3	3	10	31	34.0%	12.8%
サービス業（他に分類できないもの）	5	0	5	21	32.3%	16.1%
運輸、郵便業	2	0	3	14	26.3%	10.5%

※回答数が10事業所以上の業種

④ 高齢者活躍人材確保育成事業における施策の効果

新聞広告の認知度は前年度から2.1倍増と大幅に向上しています。コロナ禍にあって事業所訪問が十分にできなかったことから、掲載頻度を上げたことが要因として考えられます。

一方で、リーフレット・チラシ、広報誌など直接手交する広報物は、依然として認知度が下がっています。とりわけ、広報紙の認知度が低いことが懸念されます。予算縮減を反映して、令和2年度に行っていた会員及び役職員による配布を大幅に縮小したことが影響していると考えられ、媒体の特性を踏まえた活用方法を再考する必要があると考えられます。

		構成率	
		前年度	前々年度
新聞広告	23.1%	10.9%	11.0%
リーフレット、チラシ	52.4%	55.2%	73.6%
広報誌「しるばータイムス@しまね」	20.8%	27.3%	
広報紙「しるばータイムス@しまねかわら版」	10.6%	－	－
ポスター	13.2%	－	－
その他	1.4%	0.4%	7.1%

※ 構成率の分母は、全回答数。

新聞広告の認知度を地域別で見たときに、全体的に県西部が低いことが見て取れます。これは、新聞広告を掲載した山陰中央新報の購読数（割合）が低いことも要因のひとつとして考えられますが、その中で益田市が極端に低いことが不可解です。

また、リーフレット・チラシ及び広報誌並びに広報紙の認知度が、新規派遣事業所の確保が比較的進んでいる松江市と出雲市で比較的低い結果となっています。新規派遣先事業所の確保が低調な浜田市及び益田市などとも逆転現象にあります。

	新聞広告	リーフレット・ チラシ	ポスター	広報誌	広報紙	その他
松江市	24.1%	37.3%	11.4%	17.7%	8.9%	0.6%
浜田市	19.2%	48.1%	9.6%	17.3%	5.8%	0.0%
出雲市	18.1%	41.3%	11.6%	18.1%	7.2%	3.6%
益田市	3.7%	51.9%	11.1%	25.9%	7.4%	0.0%
安来市	12.5%	62.5%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%
江津市	14.3%	52.4%	9.5%	19.0%	4.8%	0.0%
雲南市	20.5%	46.2%	2.6%	17.9%	12.8%	0.0%
奥出雲町	0.0%	28.6%	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%
津和野町	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
美郷町	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
邑南町	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
吉賀町	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
隠岐の島町	20.0%	33.3%	6.7%	20.0%	20.0%	0.0%

⑤ イベント・企画に対する期待・関心

過去1年間に参加または利用したことのあるイベント・企画を問うたところ、いずれも3%台以下となっています。連合本部が、令和2～3年度にかけてセミナーあるいは職場体験・見学を実施したのは、松江、出雲、美郷、大田地域のみであり、コロナ禍にあって実施回数も限られていたことから、このような結果でもやむを得ないかと思われまます。

	講演・セミナーの聴講	職場体験・見学の受入れ	広報物の取材受入れ、広告掲載	その他	参加・利用なし
松江市	2.5%	2.5%	3.2%	0.0%	0.0%
浜田市	1.9%	3.8%	1.9%	0.0%	0.0%
出雲市	2.9%	2.9%	1.4%	0.0%	0.0%
益田市	7.4%	3.7%	11.1%	0.0%	0.0%
安来市	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%
江津市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
雲南市	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
奥出雲町	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
津和野町	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
美郷町	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
邑南町	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吉賀町	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
隠岐の島町	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
大田市	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

一方で、イベント・企画への参加意向を問うたところ、地域別には次の通りでした。人口規模等も勘案すると、セミナーは出雲市と大田市、あるいは江津市あたりでの事例紹介が、一定の集客が見込めると思われます。

	高齢者活用事例セミナーの聴講	高齢者雇用支援制度セミナーの聴講	求職者等への企業説明会の窓口設置	職場体験・見学の受入れ	広報物の取材受入れ、広告掲載	その他
松江市	15.8%	9.5%	3.8%	15.8%	1.3%	0.6%
浜田市	11.5%	17.3%	9.6%	9.6%	1.9%	0.0%
出雲市	25.4%	18.8%	6.5%	12.3%	2.2%	0.7%
益田市	18.5%	14.8%	7.4%	11.1%	3.7%	0.0%
安来市	12.5%	25.0%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%
江津市	23.8%	23.8%	4.8%	23.8%	4.8%	0.0%
雲南市	17.9%	12.8%	2.6%	15.4%	2.6%	0.0%
奥出雲町	57.1%	85.7%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%
津和野町	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
美郷町	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
邑南町	12.5%	12.5%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%
吉賀町	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
隠岐の島町	13.3%	6.7%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%
大田市	26.1%	17.4%	13.0%	13.0%	4.3%	0.0%

⑥ 広報誌、広報紙から見る関心度

このたびの調査では、同封したリーフレット等の中から、どのような記事が注目されているかを調査することから、シルバー派遣事業の特性のどの部分への関心度が高いかを測（量）ることとしました。

シルバー派遣事業の特徴・活用法の中で「1日だけの業務でも受け入れが可能（34.2%）」、事例の中で「季節仕事にもシルバー派遣事業で対応（21.9%）」が比較的高い関心を示されていることから、「繁忙期等の短期間の業務」での活用というキーワードが浮かんできます。

その他に、シルバー派遣事業の特徴・活用法の中で「仕事に慣れた会員を続けて受入れ（31.1%）」、事例の中で「愛着のある職場で再び働く（19.3%）」も比較的高い関心を示されていることから、「就業環境に慣れた会員を長く」「特定（少人数シフト）の会員を継続して」での活用というニーズが想定されてきます。また、定年を超えるなど、社内規定などにより直接雇用が適わない元社員の活用方法としてシルバー派遣事業を位置づけるパターンも、一考の価値があると考えられます。



⑦ シルバー派遣事業の活用が有効であると思われる業務

調査（質問）の総括として、各々の事業所でシルバー派遣事業の活用が有効である業務を問うた結果は次のとおりでした。

昨年度は高い数値であった「補助的な業務」も前々年度に近い数値に戻っているが、順位は変わっていない。全体的に数値が下がっていることは、若干懸念されます。

		構成率	
		前年度	前々年度
社員の補助的な業務	37.3%	59.2%	31.9%
非専門的な業務	15.6%	—	—
短時間の業務	32.8%	38.0%	35.2%
数日以内の短期的な業務	18.9%	23.8%	40.7%
繁忙期等の臨時的な業務（4か月未満）	23.8%	30.7%	25.2%
その他	2.1%	1.1%	2.1%

※ 構成率の分母は、各年度の全回答数。

2. まとめ

調査の結果、シルバー派遣事業の認知度が80%台である一方で、利用率が半数に満たない状況です。高齢者活躍人材確保育成事業の特性から、短期的な成果を上げるには、次のように諸課題を踏まえた対策を講じる必要があります。

- ◎ 新規会員の就業先となる新規派遣先事業所の早期開拓
- 事業所における活用ニーズ・ウォンツの掘起こし・提案力の強化
- 事業所ニーズに応じた新規会員の確保・育成の仕組み
- 増加する事務処理体制の整備
- 成果が見込まれる分野・地域への重点的な取組

しかしながら、令和4年度には、島根県内におけるシルバー派遣事業の周知・広報の柱である高齢者活躍人材確保育成事業予算が大幅に縮減となります。そのため、新聞広告やホームページによる情報発信、あるいはハローワークなどの協力を得て広く周知・広報を展開、就労見学先の対象を拡大等する一方で、重点的な取組が必要です。

具体的には、①松江市や出雲市のように新規派遣先事業所の開拓が進んでいる地域に加えて、②浜田市や益田市のように一定の市場はあるものの新規派遣先事業所の開拓が低調な地域への取組強化、③大田市のような新規市場への展開をバランスよく行うことが肝要です。

これらを踏まえ、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足の解消に資するにあたり、このたびの調査結果は、令和4年度における高齢者活躍人材確保育成事業及びシルバー派遣事業の展開の参考にすることとします。

Ⅲ. 集計結果（各問の回答数の合計・小計値は、未回答の事業所があるなど一致しない場合があります。）

問1 現在の、貴事業所のことについてお伺いします。

(1) 所在地

	対象数	回答数	回答率	構成率
松江市	450	119	26.4%	28.1%
浜田市	105	43	41.0%	10.1%
出雲市	296	107	36.1%	25.2%
益田市	78	27	34.6%	6.4%
大田市	52	21	40.4%	5.0%
安来市	50	18	36.0%	4.2%
江津市	39	20	51.3%	4.7%
雲南市	52	30	57.7%	7.1%
奥出雲町	20	8	40.0%	1.9%
飯南町	9	3	33.3%	0.7%
川本町	6	4	66.7%	0.9%
美郷町	3	2	66.7%	0.5%
邑南町	12	7	58.3%	1.7%
津和野町	10	2	20.0%	0.5%
吉賀町	8	3	37.5%	0.7%
海士町	2	1	50.0%	0.2%
西ノ島町	4	1	25.0%	0.2%
知夫村	-	-	-	-
隠岐の島町	18	8	44.4%	1.9%
合 計	1,214	424	34.9%	100.0%

(2) 業種

	回答数	
		構成率
農業、林業	11	2.6%
漁業	3	0.7%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
建設業	48	11.3%
製造業	83	19.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	4	0.9%
情報通信業	3	0.7%
運輸、郵便業	19	4.5%
卸売業、小売業	45	10.6%
金融業、保険業	5	1.2%
不動産業、物品賃貸業	4	0.9%
学術研究、専門・技術サービス業	9	2.1%
宿泊業、飲食サービス業	5	1.2%
生活関連サービス業、娯楽業	5	1.2%
教育、学習支援業	6	1.4%
医療・福祉	119	28.1%
複合サービス業	6	1.4%
サービス業（他に分類できないもの）	31	7.3%
公務（他に分類されるものを除く）	2	0.5%
その他	14	3.3%
未回答	2	0.5%
合 計	424	100.0%

(3) 従業員数

	回答数	
		構成率
49名以下	168	39.6%
50名以上99名以下	134	31.6%
100名以上299名以下	90	21.2%
300名以上	24	5.7%
未回答	8	1.9%
合 計	424	100.0%

問2 国からの委託を受けてシルバー人材センターが行っている高齢者活躍人材確保育成事業についてお伺いします。

(1) 過去1年間にご覧になったことのあるシルバー人材センター関係の広報物がありますか。(複数回答可)

	回答数	
	回答数	構成率
新聞広告	98	23.1%
リーフレット、チラシ	222	52.4%
ポスター	56	13.2%
広報誌「しるばータイムス@しまね」	88	20.8%
広報紙「しるばータイムス@しまね かわら版」	45	10.6%
その他	6	1.4%

※ 構成率の分母は、全回答数の424件。

(2) 過去1年間に参加または利用したことのあるシルバー人材センターのイベント・企画はありますか。(複数回答可)

	回答数	
	回答数	構成率
講演、セミナーの聴講	13	3.1%
職場体験・見学の受け入れ	16	3.8%
広報物の取材受け入れ、広告掲載	13	3.1%
その他	0	0.0%
参加または利用なし	388	91.5%

※ 構成率の分母は、全回答数の424件。

(3) 高齢者の活用にあたり、どのような企画であれば、参加・利用してみようと思いますか。(複数回答可)

	回答数	
	回答数	構成率
高齢者活用事例セミナーの聴講	102	24.1%
高齢者雇用支援制度セミナーの聴講	85	20.0%
求職者等への企業説明会での窓口設置	31	7.3%
職場体験・見学の受け入れ	76	17.9%
広報物の取材受け入れ、広告掲載	13	3.1%
その他	2	0.5%
回答なし	183	43.2%

※ 構成率の分母は、全回答数の424件。

問3 シルバー派遣事業についてお伺いします。

(1) シルバー人材センターが労働者派遣事業を行っていることをご存知ですか。

	回答数	構成率
知っている	367	86.6%
知らない	53	12.5%

(2) これまでに、シルバー派遣事業をご利用になったことがありますか。

	回答数	構成率
現在、継続して利用している	79	18.6%
現在、断続的に利用している	19	4.5%
以前、利用したことがある	73	17.2%
利用したことはない	248	58.5%

※ 構成率の分母は、全回答数の424件。

(3) 同封の事例集「シルバー派遣事業 活用FILE」をご覧ください。

ア) 2ページの特徴・活用法のうち、最も魅力的なものはどれですか。(いずれかひとつ)

	回答数	構成率
実費相当のマージン率(事務手数料)	58	13.7%
マンパワーを本来業務に全集中!	74	17.5%
仕事に慣れた会員を続けて受け入れ	132	31.1%
1日だけの業務でも受け入れが可能	145	34.2%

※ 構成率の分母は、全回答数の424件。

イ) 4～11ページの事例のうち、最も興味深いものはどれですか。(いずれかひとつ)

	回答数	構成率
シルバー派遣で三方よし	96	22.6%
子供たちに囲まれて働くよろこびを実感	40	9.4%
愛着のある職場で再び働く	82	19.3%
学童保育にシニア世代のマンパワーを	23	5.4%
季節仕事にもシルバー派遣事業で対応	93	21.9%
子供好きシルボンヌのプチワーク	9	2.1%
地域を支える担い手を!講座でキャリアアップ	26	6.1%
百聞は一見に如かず!多彩なお仕事を見学	31	7.3%

※ 構成率の分母は、全回答数の424件。

- (4) 同封の広報誌「しるばータイムス@しまね」をご覧ください。最も興味深い記事はどれですか。(いずれかひとつ)

	回答数	
	回答数	構成率
縁結びのまち 出雲	100	23.6%
寿生苑にお邪魔しました	64	15.1%
福祉分野で広がる「臨・短、軽」	68	16.0%
福祉施設でのプチワーク講習（松江会場）	28	6.6%
ニーズの変化に対応したサービスの進化	107	25.2%
その他	5	1.2%

※ 構成率の分母は、全回答数の424件。

- (5) 貴社で、シルバー派遣事業の活用が有効だと思われる業務はありますか。(複数回答可)

	回答数	
	回答数	構成率
社員の補助的な業務	158	37.3%
非専門的な業務	66	15.6%
短時間の業務	139	32.8%
数日以内の短期的な業務	80	18.9%
繁忙期等の臨時的な業務（4か月未満）	101	23.8%
その他	9	2.1%

※ 構成率の分母は、全回答数の424件。